



学校だより 西北歳時記

長崎市立西北小学校 校長 立本 祐輔

NO. 6 令和3年10月20日 発行



「一人一人 主役になれる 運動会」

土曜日の雨を境に、季節が一気に「秋」へと変わったようです。運動会の練習が始まっています。今年も、新型コロナウイルスによる影響と熱中症予防のため、5月から10月末に延期といたしました。衆議院選挙と同日となり、地域のみな様にはご不便をおかけすることを申し訳なく思っております。

第5波が収束に向かってはいえ、感染予防の徹底のため、参観人数の制限を設けております。また、開催時間短縮のため、学年の種目も減らしています。そのような中でも、子どもたちは運動会本番に向けて演技や応援の練習に真剣に取り組んでいます。

子どもは、行事を通して大きく成長します。全力を出す、みんなと協力する、そして、自分の力を人のために役立てる経験はとても貴重なものです。特に高学年は、応援や係の仕事を通してリーダーシップも育ちます。限られた時間ではありますが、子どもたち一人一人が主役として輝いてほしいと願っています。

先日、運動会のご案内でもお願いしましたが、再度確認をさせていただきます。

- 1 駐車場はありません。学校周辺の道路への駐車もご遠慮ください。
- 2 学校敷地内及び、周辺での喫煙（タバコのポイ捨て）はやめてください。
- 3 参観のマナー（場所取りの禁止、入れ替えで参観）を守ってください。



親として、子どもの手本となる行動をお願いいたします。
重ねて、みな様のご理解とご協力をお願いいたします。

科学館・原爆資料館見学

先週の金曜日、5年生が長崎市科学館と原爆資料館の見学に出掛けました。本来であれば、9月に実施することになっていましたが、台風14号接近のため臨時休校となり、先週ようやく実施することができました。特に原爆資料館見学では、世界平和の実現のため、今、自分たちに何ができるのかを学習している5年生にとって、貴重な学びの場となったようです。

このような行事が再開できたことに感謝して、日々の学習に生かしていきたいと思っております。



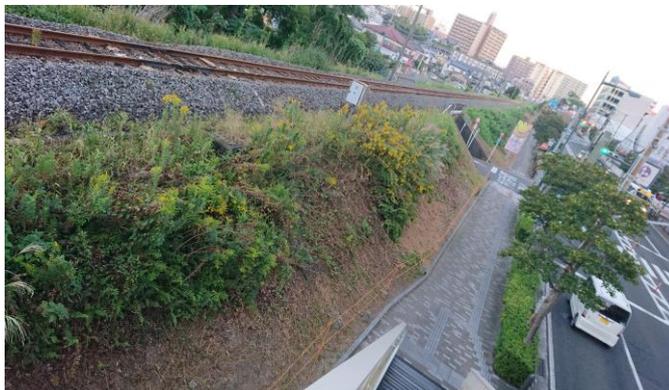
JR線路沿いの街路樹の伐採について

JRの線路沿いにあった街路樹が、きれいに伐採されました。

夏場はチャドクガの幼虫（毛虫）が大量に発生して、余儀なく通学路を変更しなければならなかった子どもたちもいました。

実は、街路樹を伐採することになったきっかけは、西北小学校の子どもたちの行動からでした。

6年生の〇〇さんは、自分の通学路の木に毛虫が大量に発生して危険を感じていました。そこで、そのことをお父さんに相談してみました。お父さんは、地域に住む市議会議員さんにそのことを伝えました。すると、議員さんは美咲さんたちと現場の様子を確認して、JRに連絡をしてくれたのです。広範囲にわたる街路樹を伐採するとなると、予算と時間が必要になります。それでも、JRや市の担当の方々は、美咲さんの願いを聞いてくれて「街路樹伐採」ということになったのです。6年生は、社会科の学習で「わたしたちの暮らしと政治」について学びます。住民の願いを実現するための地方自治や福祉、税金等について、更に関心を深めるきっかけになってほしいと思います。



研究授業、がんばってます！

2学期に入り、西北小学校では多くの研究授業が行われています。私たち教員にとって、研究授業は指導技術を高めるために欠かせないものです。ただ、指導案や教材づくり、そして自分の授業を多くの先生に見られるといったプレッシャーがあることも事実です。

それでも、西北小学校の先生方は研究授業に積極的に取り組んでいます。算数・国語・外国語活動・道徳と、目白押しに研究授業が行われました。今後もいくつか計画されています。9月は、教育実習生が授業を何度も公開し、見る見るうちに力を上げていきました。

研究授業が子どもの学力向上につながるよう、これからも全員で取り組んでいきます。

第2回 全校安全下校

昨日、第2回の全校安全下校を実施しました。下校班（動物）ごとに運動場に集合し、出欠の確認をして整列します。今回は大きな混乱もなく、整然と並ぶことができました。日差しが強く、土埃が舞う中でしたが、係の先生や私の話をみんなよい姿勢でしっかりと聞いていました。西北小の子どもたちの意識の高さを感じました。

